

社会 1学期

教科	学習内容	観点	到達目標
1 年 社会	わたしたちのくらす地球		世界全図の略地図を書いたり、世界旅行を企画する活動に意欲を持って取り組むことができる。
			時差のしくみや世界各地の国境線の設定理由が考えられる。
			地図帳を参考に、略地図を書いたり、インターネットや地図を使って世界の国々の情報を得られる。
			地球儀や地図の見方、時差の計算、大陸と大洋の名称など知識として身に付けている。
	文明のおこりと日本の成り立ち		歴史学習への準備ができたり、歴史的事象（人類の出現や日本のあけぼの）への関心がある。
			古代文明の立地条件が地図より推論できる。
			旧石器時代や新石器時代の生活の違いをまとめたり、縄文と弥生の文化の違いを発表できる。
			日本における文明のおこりから大和國家の成立までの概要を理解し、その知識を身に付けている。
2 年 社会	身近な地域の調査		地形図の読み取りに熱心に取り組み、調査方法を考えようとする。
			地形図や調査の方法に関する知識が身についている。
	群馬県		群馬県について積極的に調べ、まとめ冊子を主体的に提出できる。
			群馬県の産業や農業の立地の要因及び工夫を考えられる。
			与えられたテーマに即して、考えをまとめ、その考えを発表できる。
			群馬県の地域分布図作りができる。
	群馬県		自分なりの上毛カルタを発表できる。
			群馬県の自然、産業、人口の変化を理解できる。
福岡県と東京都		教科書の資料を使って福岡、東京について熱心に調べられる。	
		九州の産業の特色や成田空港の特徴をグラフの情報を使って説明できる。	
		九州や東京の位置を白地図にまとめたり、主題図の読み取りができる	
		福岡県や東京都の自然、産業、人口の変化を理解できる。	
世界から見た日本のすがた		産業や人口等に関して、表の読み取りを積極的に発言したり、分布図等を提出できる。	
		工業地域の分布図から、日本の工業立地の特徴を考えることができる。	
		日本の土地利用図や人口ピラミッドから農業分布や人口構成の変化を読み取ることができる。	
		京都や沖縄に関する知識や人口、産業、資源、交通等に関する知識を十分に身につけている。	

3  
年  
社  
会  
科

現代社会と私たちの生活	戦後の家庭生活の変化について意欲的にレポートにまとめたり、発表できる。
	自己課題を選択し、テーマに沿ってレポートがまとめられる。
	戦後の高度成長や食料自給率の変化、産業の変化、情報社会等が知識として身につけている。
個人と社会生活	人間の尊重や法、きまりについて関心を持ち、民主的な社会生活に関する自己の意見を持っている。
	社会生活やルールについての話し合いで、自分の立場だけでなく様々な角度で考えることができる。
	いくつかのテーマにそって自己の意見を発表したり、司会をしたり、記録したりすることができる。
	基本的人権の歴史、日本国憲法の特徴、人権の分類などが知識として身に付いている。